

コカ・コーラ ボトラーズジャパン 水資源保全の 取り組み

2024年3月1日

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

サステナビリティ戦略統括部

サステナビリティリレーション部

ハッピーなひとときを、
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.





コカ・コーラのビジネスにとって「水」はもっとも重要な原材料です。

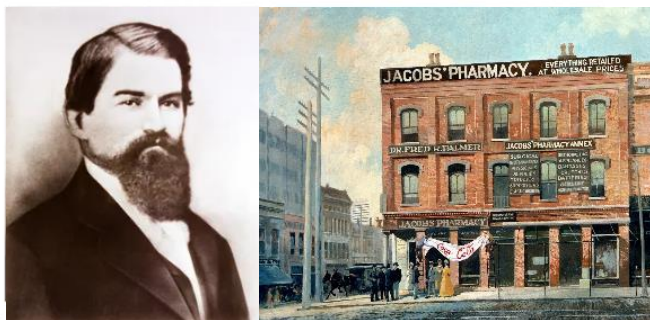
**持続可能な水資源の保全は、
私たちの事業の持続可能性に直結します。**

コカ・コーラの歴史

1886

ジョン・ペンバートン博士

ジョージア州アトランタにて「コカ・コーラ」を発明



1923

ロバート・ウッドラフ

ザ コカ・コーラ カンパニー 社長就任



1887



世界初の試飲クーポンを
開発

1894



ボトル入り飲料
として発売

1915

「コカ・コーラ」ボトル

(コンツァーボトルの名で知られる)

意匠登録

1916

「コカ・コーラ」ボトル

(コンツァーボトルの名で知られる)

市場導入



1924



携帯用6本入り
カートン発売

日本におけるコカ・コーラビジネスの紹介

日本のコカ・コーラシステム



コカ・コーラ ボトラーズジャパン

製造・商業資本	製造拠点 17 工場	営業／物流拠点 約 300 カ所	自動販売機 約 70 万台
知的資本	日本の取り扱いブランド 約 40 ブランド	世界のボトリングパートナー 約 225 社	
人的資本	社員数 約 14,500 名		
社会関係資本	営業地域 1 都 2 府 35 県	エリア内人口 約 1億1,100 万人 (5,300万世帯)	
自然資本	水使用量 13,287 千m ³	水源涵養率 420 %	
財務資本	資産合計 約 8,300 億円	格付 A+(R&I)/AA-(JCR)	

2022年12月末時点

水資源保全の目標 (KPI)

■日本のコカ・コーラシステムの「サステナビリティフレームワーク」

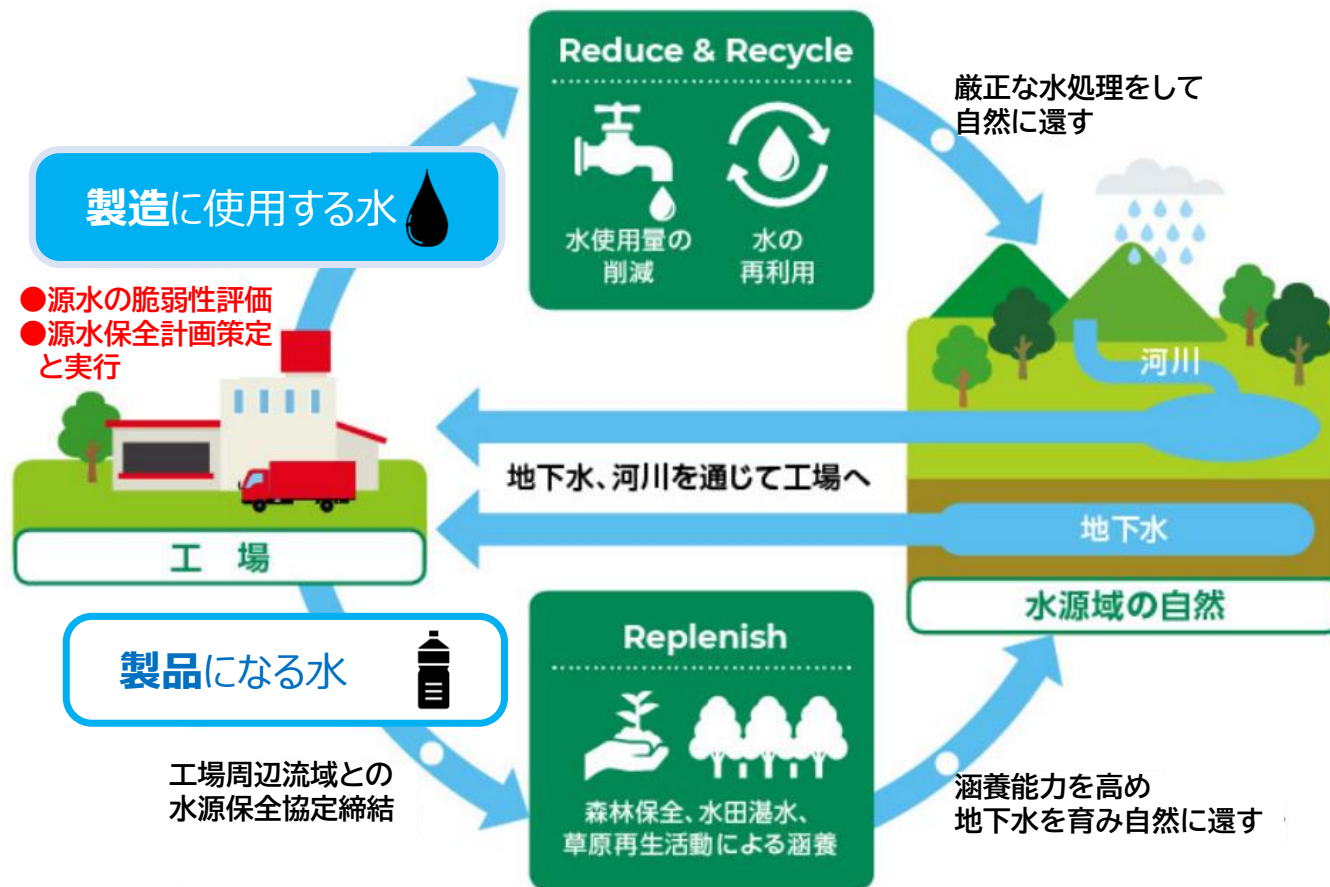


コカ・コーラ ボトラーズジャパンが非財務目標として掲げる「CSV Goals」



記載のない限り、基準年は2015年、目標年は2025年

コカ・コーラシステムの考える水の循環



軸となる活動

1.Reduce

工場における水使用量の削減

2.Recycle

工場における排水管理

3.Replenish

地域の水源の調査と保全

1.Reduce

「工場における水使用量の削減」



・コカ・コーラシステム独自のマネジメントシステム「KORE」の品質基準を順守しながら、製造時の水の効率的な利用を推進。

・最新技術の導入や製造工程内での水の再利用等により、使用量を削減。

2022年
(実績)

19%

2030年
(目標)
30%



KORE

Coca-Cola. OPERATING REQUIREMENTS

※KORE(コア):世界共通のコカ・コーラシステム独自のマネジメントシステム。
「品質」「食品安全」「環境」「労働安全衛生」に関して、国際規格ISOや各種法令の
要求事項を満たしつつ、さらに厳しい基準を自らに課す内容となっています。

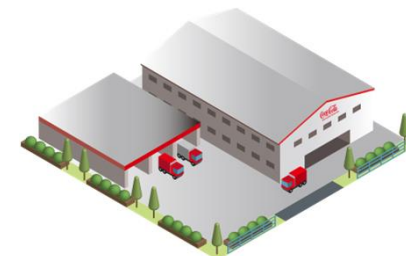
2.Recycle

「工場における排水管理」



・容器や設備の洗浄水、冷却水などの排水は、微生物を使った「活性汚泥法」などによって浄化し、水質汚濁防止法などの国内法で定められた水質基準と「KORE」の基準を照らし合わせ、より厳しい方の基準によって管理。

・適正に処理し、綺麗な水にして河川や下水道へ放流。



3.Replenish

「地域の水源の調査と保全」



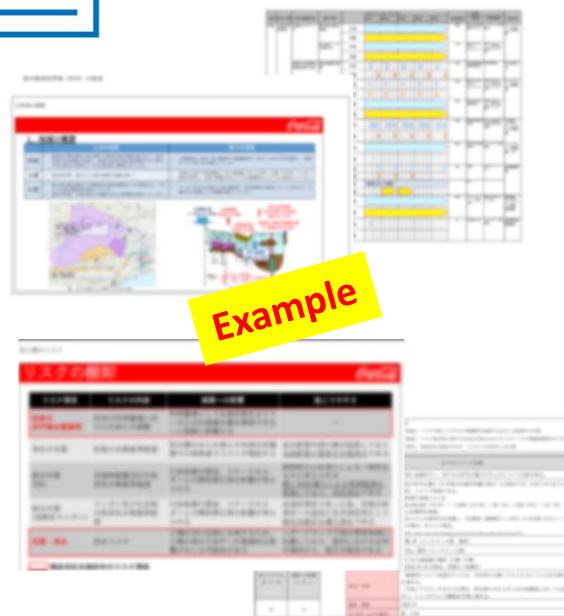
コカ・コーラシステムでは、専門機関の協力のもと、工場の水源を科学的な調査を通じて特定し、水源の脆弱性を評価したのち水源保護計画を策定、災害対策や工場水源での涵養活動を実施しています。



源水脆弱性評価
Source Vulnerability
Assessment



源水保全計画
Water Management Plan



水源の保全契約・涵養
Water Source Conservation
Agreement, water recharging

工場	水資源 保全流域	協定先 団体	協定先 自治体
17	15	29	23



※コカ・コーラ ボトラーズジャパン 17工場 2023年末時点

3.Replenish

「地域の水源の調査と保全」

水源涵養の手法



森林保全



全17工場の周辺流域に位置する森林にて、「元気な森」づくりをしています。
元気な森は、たくさんの地下水を育み、動植物にとっても棲み良い環境となります。



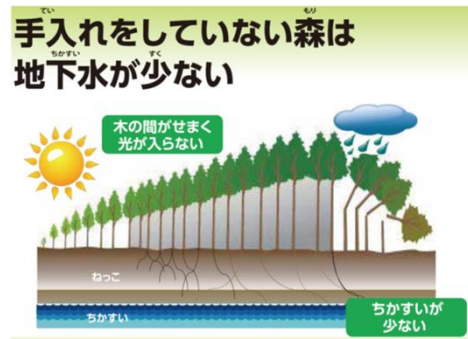
下草刈り



間伐



植林



草原保全

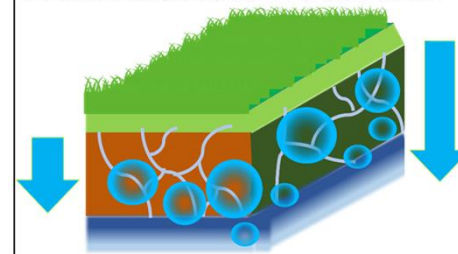


熊本工場の水源に位置する阿蘇草原の保全を支援し、地下水を育んでいます。



野焼き

野焼きにより雨水の地下浸透度UP



水田たん水

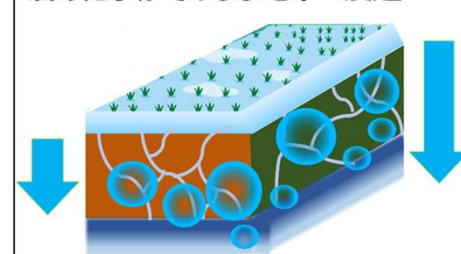


熊本工場・海老名工場の水源に位置する田畑を利用して地下水を育んでいます。



水田たん水

溜めた水がそのまま地下へ浸透



3.Replenish

「地域の水源の調査と保全」

水源涵養率 実績

2022年
(実績) **420%**

2025年
(目標) **200%**

森林保全活動による水源涵養率(Replenish率)(%)

$$\frac{\text{面積(ha)} \times 10,000 \times \text{降水量(m)} \times \text{涵養効果}}{\text{生産量(k\ell)}} \times 100$$

<涵養活動 実施事例>



防護柵の設置



植栽後の下草刈り



間伐作業後



水田たん水実施状況

工場	水源協定地域	涵養率	面積
蔵王	宮城県刈田群蔵王町	100%以上	239ha
埼玉・岩槻	群馬県利根郡片品村	500%以上	1747ha
茨城	茨城県石岡市	500%以上	1000ha
多摩	東京都日の出町	100%未満	1ha
海老名	神奈川県厚木市、海老名市	500%以上	1487ha
白州	山梨県北杜市	100%以上	282ha
東海	岐阜県恵那市	100%以上	211ha
京都	京都府綴喜郡宇治田原町	100%以上	307ha
明石	兵庫県丹波篠山市	300%以上	655ha
大山	鳥取県西伯郡伯耆町	500%以上	427ha
広島	広島県三原市	500%以上	705ha
小松	愛媛県西条市	100%以上	100ha
鳥栖・基山	佐賀県鳥栖市、基山町	100%以上	451ha
熊本	熊本県阿蘇市、菊池郡大津町	300%以上	320ha
えびの	宮崎県えびの市	500%以上	203ha



2024年末
涵養率・面積拡大予定



山梨県
丹波山村



東京都八王子市
「上川の里」

- ・2023年6月、多摩工場周辺流域で2つの自治体と新規契約締結
- ・2024年末に涵養率100%達成予定
- ・全17工場周辺の15流域すべてで水の100%循環利用の達成を目指す

社員・地域住民との工場周辺流域での活動

多くの人に森や水、生物多様性の保全について知っていただく機会を提供し、地域の自然や生き物を守り育てることの大切さを伝えています。



コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト 開催場所一覧 (No.工場名、◆プロジェクト名)



コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクト 活動の様子

地域住民や自治体と協働で、各地でさまざまな活動を行っています。



苗木の植樹（宮城県蔵王町）



間伐後の切り分け作業（広島県三原市）



ツリークライミング体験（埼玉県吉見町）



昼食 赤牛BBQ (熊本県阿蘇市)



竹林整備・タケノコ収穫（宮崎県えびの市）



間伐材を使った土留めづくり（山梨県北杜市）



間伐材を使った工作（茨城県石岡市）



棚田での田植え（岐阜県恵那市）

水に関する取り組みへの賛同・参画、外部評価の獲得



Taskforce on Nature-related
Financial Disclosures



CLIMATE WATER



Thank you

ハッピーなひとときを
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.